

当院免疫感染症内科受診中の患者さんの 情報を研究に利用することについてのお知らせ

九州医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。本研究に関するご質問等がありましたら下記の[当院の問い合わせ窓口]までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、当該研究にカルテ情報が用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の[当院の問い合わせ窓口]までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] HIV 感染者における Non communicable diseases の実態調査

[当院の研究責任者] 免疫感染症内科、南 留美

[研究の背景]

抗 HIV 剤の開発によりウイルスのコントロールが良好になり、HIV に感染しても長期生存が可能になりました。一方、HIV 感染は老化を進行させることがわかっており、いわゆる Non communicable diseases (NCDs) (食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒などの生活習慣が発症・進行に關与する諸疾患の総称) の合併率は同年齢の HIV 非感染者と比較すると高いと言われています。HIV 感染者における NCDs 合併の原因としては、生活習慣のみではなく、免疫システムの損傷、抗 HIV 薬の毒性、遺伝的要素などが想定されていますが正確な機序はわかっていません。本研究では当院通院中の HIV 感染患者さんを対象に、NCDs の合併率や患者さんの背景を検討する観察研究です。

[研究の目的]

HIV 感染患者さんにおける NCDs の合併率およびその背景を検討することにより NCDs 発症に關係する原因を調べます。リスク因子として考えられる抗 HIV 薬や生活習慣を変えることにより、健康的に生活をしながら年齢を越えていくことが可能になります。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

以下の期間に当院免疫感染症内科を受診した HIV 感染者の方

2018 年 9 月 1 日から 2018 年 11 月 30 日

2023 年 7 月 1 日から 2023 年 10 月 31 日

●研究期間：承認日～ 2029 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報：

1) 基本情報

生年・性別・年齢・既往歴・合併症（AIDS 指標疾患・精神神経系疾患・脂質異常症・糖尿病・心疾患・肝疾患・腎疾患・骨粗鬆症・脳血管疾患など）・身長・体重・血圧・握力・体温・自覚症状・他覚所見・生活習慣（飲酒、喫煙など）

2) 疾患情報

抗 HIV 薬の処方内容と投与期間・2008 年 4 月 1 日～2023 年 10 月 31 日までの血液検査結果（およそ 1 年ごと）（白血球数, リンパ球%, 赤血球数, ヘモグロビン, ヘマトクリット, 血小板数, ALT, AST, γ -GTP, 総ビリルビン, LDL-コレステロール, HDL-コレステロール, 中性脂肪, 血糖値, 尿酸, クレアチニン, 推定糸球体濾過量 (eGFR), CD4%, CD8%, CD4 陽性 T 細胞数, CD8 陽性 T 細胞数, 血中 HIV-RNA 量, 尿検査結果（尿蛋白, 尿糖, 尿潜血）・腹部エコー所見、頭部 MRI 所見、頸動脈エコー所見、骨密度、血流依存性血管拡張反応検査 (FMD)、体組成、

●情報の管理

情報は当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[当院の問い合わせ窓口]

国立病院機構九州医療センター

免疫感染症内科 南 留美

〒810-8563 福岡県福岡市中央区地行浜 1-8-1

電話 092-852-0700